



Obihiro Rotary Club

District 2500 Rotary International

No. 2876
第3194回例会
平成22年2月19日

2009-10年度 国際ロータリーのテーマ THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS
(ロータリーの未来はあなたの手の中に)

方針

修練

会長 清水 茂彰

(帯広5RC・音更RC・芽室RC・合同例会)

■プログラム

顔の見える国際ボランティア

NPO法人「飛んでけ！車いす」の会

事務局長 クイン明美 様



皆さんこんにちは。いまご紹介いただきました「飛んでけ！車いす」の会事務局長のクイン明美といます。今日は大勢の皆さんの前で、お話しできることをうれしく思います。よろしくお願ひします。この会がどのような活動をしているのかを紹介したいと思います。

「飛んでけ！車いす」は日本で使われなくなった車いすを再利用し、丁寧に整備清掃し、車いすが手に入らない人々へ旅行者が直接手渡しをしています。旅行者が手渡すことで、車いすを受け取った人との交流もすすんでいます。

車いすは、仕事退職をしたシニアの技術を持った人が整備をしています。それに合わせ小学校では整備体験というのもしています。海外とはコーディネーターの人がやりとりをしています。そしていろんな車いすがあるのですが、できるだけ、その人に合った車いすを送るために、相手の人から情報をもらいます。そしてマッチングした車いすに整備をします。うちの会は、学生が多く関わっていて、海外にも行ってあります。車いすをもらったことで活動的

になり、大学院まで行った人もあります。

この会は12年目を迎えました。その間、68カ国1815台の車いすが届けられました。車いすが多く飛んでいった国は、1 ベトナム 447台、2 タイ 225台、3 フィリピン 174台、4 マレーシア 76台、5 中国 58台、となっております。ベトナムが多いのは、相手側にサポートしてくれる団体があるというのもそうなんです。ベトナム戦争の影響があると思います。いまでも障害児が多く生まれています。

この会が設立されたきっかけは、現代表はまだ若くて37歳ですが、彼が北大医学部の学生だった時に「医療問題研究会」で土産として北大病院の古い車いすを手荷物として1996年、1997年にベトナム、インドに運んだことがきっかけとなっています。その後、私の前の事務局長が1997年ネパール、バングラデシュに旅をしてスラム訪問、障がい者団体と接触し、車いすがなくても助け合って生きているが、あれば世界が広がるということで、1998年5月設立総会を開催しました。

飛んでけ車いすにかかわっている理由を学生にインタビューしたことがあるのですが、以前は「海外に興味があり、海外とのつながりを持っていたかった。NPOとは、どんなものか知りたかった。」という人が多かったです。それが今は、「裁量が大きくやりがいがあった。自分がNPOに携わることで出会う人が変わっていき楽しかった。」という人が増えてきています。学生自ら、発信・企画・運営もしています。

いままでには、自分も障害者であるコンドカール・アラムさんと呼んで講演会をしたり、ライジングサン・ロックフェスティバルに出展したりしています。また、リングプルを集めたり、イオンでは黄色いレシートキャンペーンというのをやったりしています。さらにごちゃませスタディーツアーということで、ベトナム3回、フィリピン2回ミャンマー、

マレーシア、ウズベキスタン、タイなどほぼ毎年行
ってきています。現地へ行って整備・修理もしていま
す。

ただ、問題もいっぱいあります。ひとつ目には資
金不足です。残念ながら3年連続赤字で事業ができる
NPOへの変身も考えています。2つ目には人材不足
です。学生スタッフは卒業という期限があるので常
に新しい人材の確保や育成が必要になってきます。3
つ目には活動範囲です。企業や公共との連携・協働
も視野に活動を拡大していきたいと思っています。
当会の収入は寄付金や助成金の収入がほとんどです。
今後はあらたな収入の道も探っていきたいと思っ
ています。

車いすは、だれの車いすが誰に渡ったかを分かる
ようにしています。中にはコンテナで一気に運べば
いいという人もいますが、それですとどこに車いす
が行ったか把握できなくなります。私どもは顔の見
えるボランティアということで、効率的ではないか
もしれませんが、手渡しでやっていきたいと思っ
ています。

これからも多くの人に温かい心を届けられよう
とがんばって行きたいとおもっていますので、よろし
くお願いします。

■会長挨拶

帯広北RC 堀 副会長



国際ロータリー世界理解月間ということで、この
ような合同例会が開催されました。私は国際理解が
時代によってそれぞれ異なるものがあるのではと思
っています。

例えば江戸時代ですと、鎖国の時代ですから、世
界のことを知らなくていい。もしも知ってしまえば、
磔の荆となってしまいます。それから明治維新にな
りまして、帝国主義がでてきて、海外の文化という
ものを取り入れて、富国強兵につながりました。そ
れが第二次世界大戦につながりました。そして戦後
になりますと、世界の平和、世界の国々が友好を深
めることが、いまでも繋がっている国際理解だと思
っています。いずれにしても、世界の平和につな
げるためには、それぞれの国民が互いにそれぞれの
国や国民を理解することが重要だと思います。

私たちも、この世界理解月間を契機に、より世界
の理解を深めたいものだと思っています。

以上、ご挨拶と致します。

■会務報告

帯広北RC 来海 幹事

- (1)帯広南RC、繰上げ例会開催のご案内
日 時 平成20年2月19日(日)午後0時
場 所 ホテル日航ノースランド帯広
尚、2月22日(月)の繰上げ例会と致します。
 - (2)帯広西RC、夜間移動例会開催のご案内(創立記念例会)
日 時 平成22年2月25日(木)午後6時30分
場 所 シャレード
 - (3)帯広北RC、夜間移動例会開催のご案内(創立記念例会)
日 時 平成22年2月26日(金)午後6時30分
場 所 ジグザグ
- 謝辞 帯広東RC 齊藤 会長



↑携帯サイトが
できました。
バーコードリー
ダーで読み込む
事ができます。



例会日/水曜日 12:30~13:30 例会会場/ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立/昭和10年3月15日 ●認証番号/3820 ●戦後再開/昭和25年12月19日

事務局/帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行/クラブ広報 ●委員長/佐藤 真康・倉野 賢・島田 哲男・進藤 敦史・園尾 真一
竹川 博之・梅安 雅満・蔦井 秀則・中島 一晃・新田 潔

●ホームページアドレス/http://www.obihiro-rc.co.jp